東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2006 年 7 月 21 日

聖なる３つの月とラガーイブの夜

親愛なるムスリムの皆様。崇高なるアッラーが、人々に、慈悲と恵みを特に豊かに与えてくださる、定められた時、定められた季節があります。一週間の中では金曜日が、月の中ではラジャブ・シャーバン・ラマダンの三つの月が、恵みに満ちた時になります。

アッラーに感謝いたします。ラジャブ・シャーバン・ラマダンの三つの月の始まりに、私達は到達しようとしています。インシャッラー、７月２７日木曜日と２８日金曜日にかけての夜は、ラガーイブ・カンディル（灯明祭）です。７月２７日の夜は灯明祭の夜として、有意義に過ごします。

ラガーイブとは、手にすることが望まれる価値、という意味です。この聖なる夜にアッラーはしもべたちに豊かに慈悲や恵みを下される為、この名が付けられています。

ラガーイブの夜をその中に含むラジャブ月は、慈悲，恵み、そして許しが多く与えられ、精神的な取引の行なわれる季節が始まったことを告げるものです。預言者ムハンマドが行なわれた次のドゥアーは、聖なる３つの月の重要性を示すものです。「アッラーよ。ラジャブ月、シャーバン月を聖なるものとしてください。そして私達がラマダン月を迎えることができますように。」

親愛なるムスリムの皆様。これらの聖なる日、月は、私達自身を確認し、評価する上で非常に重要です。もう一度過去を振り返り、将来に備え、そしてそのことを熟考しなければなりません。

アッラーを愛しているという人に。しもべとしての任務を果たしていますか。

預言者を愛している、という信者に。その方のスンナ、その徳を実践していますか。

クルアーンこそがわが書である、という人に。その命令に従い、禁じていることを避けていますか。

アッラーの恵みを受けているのに、感謝をしないのですか。飢えた人、困窮した人、よるべのない人、貧しい人を守り、保護していますか。

死が真実であることに疑いはないでしょう。今、死への備えができていますか。自分の罪をただし、悔悟していますか。

去年、この聖なる日々を共に過ごしたのに、今は会うことのできない配偶者、親友、親戚、そして友人達のことを思い、自らに秩序を与えていますか。

そう、これらを私達自身に問いかけ、状態を評価することが、この聖なる日々、聖なる夜の意義を見出すことなのです。

親愛なるムスリムの皆様。こういった人間的、イスラーム的基準で考え、悪い点や悪い習慣を放棄し、悔悟し、将来をよりよいものにしようと望み、決意を固めるのであれば、私達の毎日が、カンディルの夜のように立派なものとなり、私達の行き着くところも、イードのように喜びに満ちたものとなるでしょう。この夜に特有のイバーダの方法等はありませんが、日中は断食し、助けを要する人を助け、不和になっている人がいれば仲直りし、お互いにドゥアーしあい、夜はクルアーンを読み、祝福祈願を唱え、悔悟することによって有意義に過ごすことがふさわしいといえます。ドゥアーを行なう時には、世界各地で苦難のうちにある兄弟達のことも忘れないようにしましょう。アッラーが全ての信者をお助けくださいますように。カンディルが、善をもたらすものとなりますように。